

対象年度	H17	作成部課室	産業経済部国際交流課	関係部課室	産業経済部国際政策課
------	-----	-------	------------	-------	------------

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	4 - 11 - 1	政策名	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進
------	------------	-----	--------------------------------

政策概要	国際化の進展に対応して、異文化を理解し尊重する風を根付かせ、国際社会においてコミュニケーションができる国際性豊かな人材の育成と、外国人の暮らしやすい環境づくり、県民参加型の国際交流・国際協力が活発に行われる環境づくりを目指します。
------	---

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標	達成度
------	-------------	--------	-----

1	国際化を担う人材育成の推進 指導方法の改善や教員の指導力の向上のほか、県民自らコミュニケーションを図ろうとする姿勢の育成を図るなど、コミュニケーションの手段としての外国語教育をさらに充実させることを目指します。	ALT(外国語指導助手)1人当たりの生徒数	A
2	外国人の暮らしやすい環境づくり 国際化が進み、結婚、就労、留学など様々な理由により、宮城県に暮らす外国籍県民の数は年々増加しています。今後も一層の増加が見込まれることから外国籍県民と一般県民が互いに理解し合い、共に安心して生活できる地域づくり、いわゆる「多文化共生社会」の形成を目指します。	県内外国人留学生数	A
3	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進 国際化が進展する中で、宮城県の個性を生かしながら、県民一人ひとりが実感できる国際交流を経済、産業、文化、学術、スポーツなどの各分野で推し進めるとともに、発展途上国等からの技術研修員の受け入れや専門家の派遣などの国際協力を行います。	公的主体による交流事業で海外と往来した延べ人数	A
4	国際交流活動を支える体制づくり 国際化が進むことにより、国際交流の主体は行政から民間団体や県民に移りつつあり、団体数の増加とともにその活動内容も多様化しています。このような変化に対応するため、(財)宮城県国際交流協会を通じて積極的な情報提供や国際交流の機会づくりを目指します。		

達成度:A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)  
C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している),...(現状値が把握できないため判定不能)

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

	第5回(H17)	参考:第1~4回の推移	第4回(H16)	第3回(H15)	第2回(H14)	第1回(H13)
重視度(中央値,点) A	70.0	重視度 A	66	70	70	-
満足度(中央値,点) B	50.0	満足度 B	60	60	60	-
かい離 A-B 【かい離度】	20.0 【高い】	かい離 A-B 【かい離度】	6 【低い】	10 【中】	10 【中】	- -
満足度60点以上の回答者割合(%)	40.7	満足度60点以上の回答者割合	55.8	55.8	53.8	-

かい離:極めて高い(40点以上),非常に高い(30点以上~40点未満),高い(20点以上~30点未満),中(10点以上~20点未満),低い(10点未満)  
第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直して実施しました。第1~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切

概ね適切

課題有

A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 概ね適切 ・国際化時代にふさわしい人づくり、外国人が共に生活する地域社会づくり、世界との友好をはぐむ様々なレベルの交流・協力の推進など、政策の目指すところに合った事業からなる施策である。  【施策の重複・矛盾点の有無】 適切 ・重複や矛盾は特になし。  A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 概ね適切 ・本政策は、満足度は50点と低い水準だったが重視度は70点と「ある程度重要」な政策に区分され、かい離は20と高くなっている。施策で多少の違いはあるが、政策全体としては県民がある程度必要とする政策であると判断する。 ・インターネット等の普及や経済のグローバル化の進展により、人・もの・カネ・情報等の国境を越えた交流が益々活発になっており、国同士の外交だけではなく国境を越えた地域と地域の交流・協力の重要性や、世界的な移民化傾向の進展に伴う多文化・多民族社会への流れなどから、21世紀の宮城県を考えるに本政策の必要性は高いと考える。 ・「施策2」は4施策の中で県民の優先度は一番低い、逆に満足度は55点と5点高く、かい離も中程度となっているが、県内で暮らす外国籍県民は増加しており、社会経済情勢からは、その対応、施策の必要性が高くなっている。
---

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括
	優先度 (直近の3回)	県民が必要と感じているか( )			
1	第5回 25.1%	2位	・本施策の優先度は 4施策中 2位である。	・入学試験でもリスニング力を重視されるなど、外国語のコミュニケーション能力の向上が求められている。 ・多くの小学校で英語活動・教育に取り組まれている。 ・人材育成の観点からも、さまざまな施策を通じ、外国語教育の充実、地域レベルの国際化の推進が求められている。 ・本県の外国籍県民は近年急激に増加し、更に定住化の傾向が進んでおり、言葉の壁や生活習慣の違い等による生活上の不安を可能な限り取り除くため、適切な支援の充実が求められている。 ・国際化が進展する中で、地域と世界との結びつきが強まっており、地域の特性を生かした海外との地域間交流の促進が求められている。 ・本施策は、その社会ニーズに応え、友好姉妹交流事業を中心に、県民参加型の国際交流・協力を一層推進するものである。 ・政策目的実現との関係では他の施策と排斥し合う関係にはなく、他の各施策の手法(主体)という性格もある。 ・そのため施策の優先度は高くないが各施策を効果的に推進する本県国際交流施策の足腰の強化という面から継続的に取り組む必要がある。	大
	第4回 29.8%	2位	・本施策のかい離は 20.0点と 高い。		
	第3回 28.6%	2位	[結論]必要性: ある程度感じている		
2	9.1%	4位	・本施策の優先度は 4施策中 4位である。		・国際化が進展する中で、地域と世界との結びつきが強まっており、地域の特性を生かした海外との地域間交流の促進が求められている。 ・本施策は、その社会ニーズに応え、友好姉妹交流事業を中心に、県民参加型の国際交流・協力を一層推進するものである。 ・政策目的実現との関係では他の施策と排斥し合う関係にはなく、他の各施策の手法(主体)という性格もある。 ・そのため施策の優先度は高くないが各施策を効果的に推進する本県国際交流施策の足腰の強化という面から継続的に取り組む必要がある。
	10.5%	4位	・本施策のかい離は 15.0点と 中程度である。		
	10.2%	4位	[結論]必要性: あまり感じていない		
3	43.5%	1位	・本施策の優先度は 4施策中 1位である。	・国際化が進展する中で、地域と世界との結びつきが強まっており、地域の特性を生かした海外との地域間交流の促進が求められている。 ・本施策は、その社会ニーズに応え、友好姉妹交流事業を中心に、県民参加型の国際交流・協力を一層推進するものである。 ・政策目的実現との関係では他の施策と排斥し合う関係にはなく、他の各施策の手法(主体)という性格もある。 ・そのため施策の優先度は高くないが各施策を効果的に推進する本県国際交流施策の足腰の強化という面から継続的に取り組む必要がある。	
	39.4%	1位	・本施策のかい離は 20.0点と 高い。		
	39.6%	1位	[結論]必要性: ある程度感じている		
4	20.6%	3位	・本施策の優先度は 4施策中 3位である。		・国際化が進展する中で、地域と世界との結びつきが強まっており、地域の特性を生かした海外との地域間交流の促進が求められている。 ・本施策は、その社会ニーズに応え、友好姉妹交流事業を中心に、県民参加型の国際交流・協力を一層推進するものである。 ・政策目的実現との関係では他の施策と排斥し合う関係にはなく、他の各施策の手法(主体)という性格もある。 ・そのため施策の優先度は高くないが各施策を効果的に推進する本県国際交流施策の足腰の強化という面から継続的に取り組む必要がある。
	18.6%	3位	・本施策のかい離は 20.0点と 高い。		
	20.6%	3位	[結論]必要性: ある程度感じている		

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 概ね適切 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 課題有

・3指標のうち1指標しか適切な指標はない。「要検討」とした2指標のうち、指標「ALT(外国語指導助手)1人当たりの生徒数」については、18年度に開始する宮城県版英語検定事業の結果を利用した指標へと次回評価から変更する予定としている。なお、指標「県内外国人留学生数」についても、外国籍県民の暮らしやすさをよ里的確に示すため、アンケート調査による暮らしやすさの指標設定等への改善作業を進める。

【重視すべき施策に指標が設定されているか】 適切

・必要性を「大」とした指標全てに指標が設定されているが、上述のとおり施策1,2の指標については、実態把握に適した代替指標の再設定ないし検討を行う。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

有効 概ね有効 課題有

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

視 点	政策全体	施策1	施策2	施策3				
政策評価指標達成度	有効	有効	有効	有効				
県民満足度	概ね有効	概ね有効	課題有	概ね有効				
社会経済情勢	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効				
全 体	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効				

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・A-1 国際化の時代に相応しい、人、地域、環境づくりであり、政策の必要性は高いと判断する。施策の設定は概ね妥当である。

・A-2 3指標のうち、2指標の見直しが必要な状態であり、検討済み及び予定している方向での指標見直しを行う。

・A-3 すべての政策評価指標が、仮目標値を達成した。しかし、施策3については、目指す方向と逆の動きとなってしまった。県民満足度は、50点と低い水準だったが、満足度60点以上の回答者割合は40%は確保しており、施策は概ね有効だったと判断する。

・A-1~3の各項目を総合的に判断して、「概ね適切」と判断した。

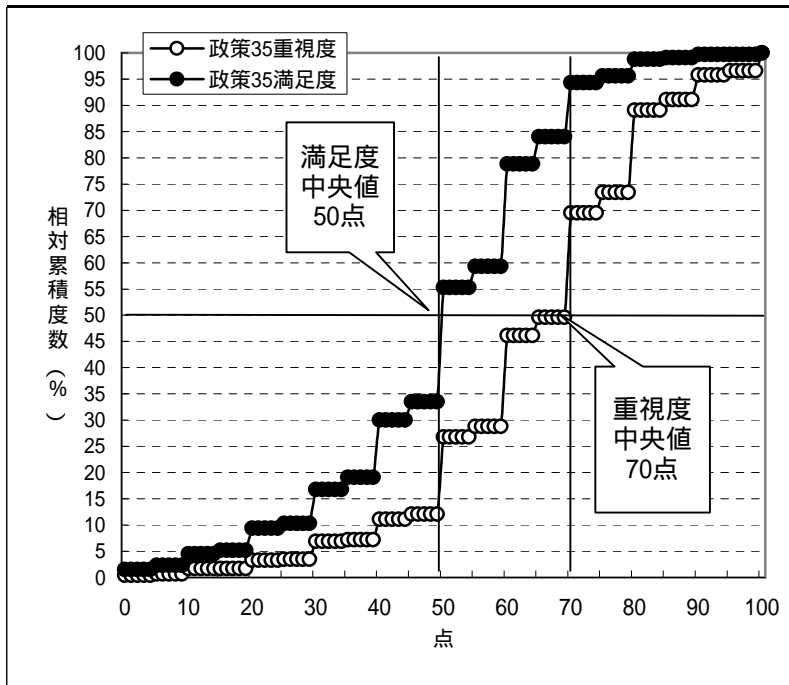
対象年度 H17

政策番号 4 - 11 - 1

政策名 国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 48.1      高認知度 21.8

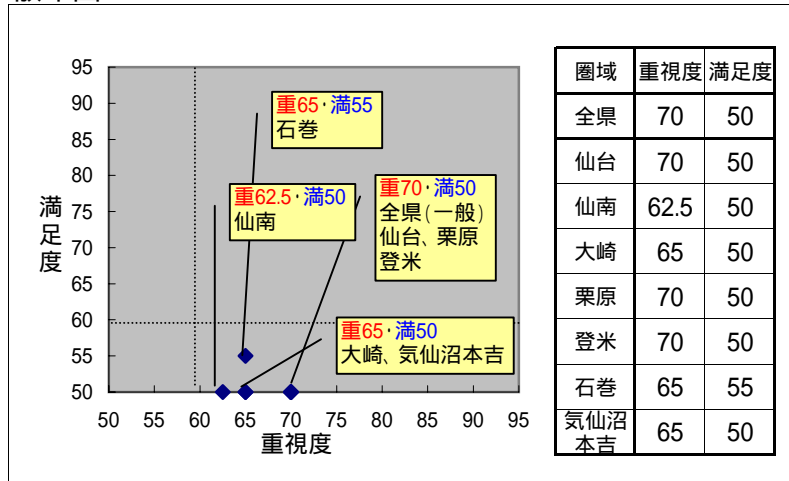


**高関心度**  
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心がある」、「ある程度関心がある」を選択した回答者の全回答者に対する割合

**高認知度**  
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っている」、「ある程度知っている」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量						
全県						
項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	70	65	70	50	60	55
第1四分位	-	-	-	40	50	50
第3四分位	-	-	-	60	60	65
四分偏差	-	-	-	10	5	7.5

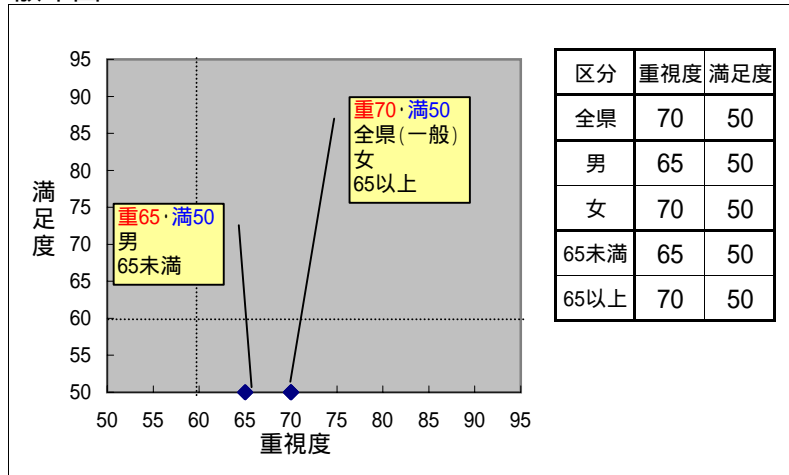
散布図



圏域別中央値(一般、市町村のみ)

圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	70	65	70	50	60	55
仙台	70	65	-	50	55	-
仙南	62.5	62.5	-	50	55	-
大崎	65	67.5	-	50	60	-
栗原	70	65	-	50	60	-
登米	70	70	-	50	55	-
石巻	65	55	-	55	50	-
気仙沼本吉	65	60	-	50	60	-

散布図



男女別・年代別中央値(一般のみ)

区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	70	65	70	50	60	55
男	65	-	-	50	-	-
女	70	-	-	50	-	-
65未満	65	-	-	50	-	-
65以上	70	-	-	50	-	-

対象年度 H17

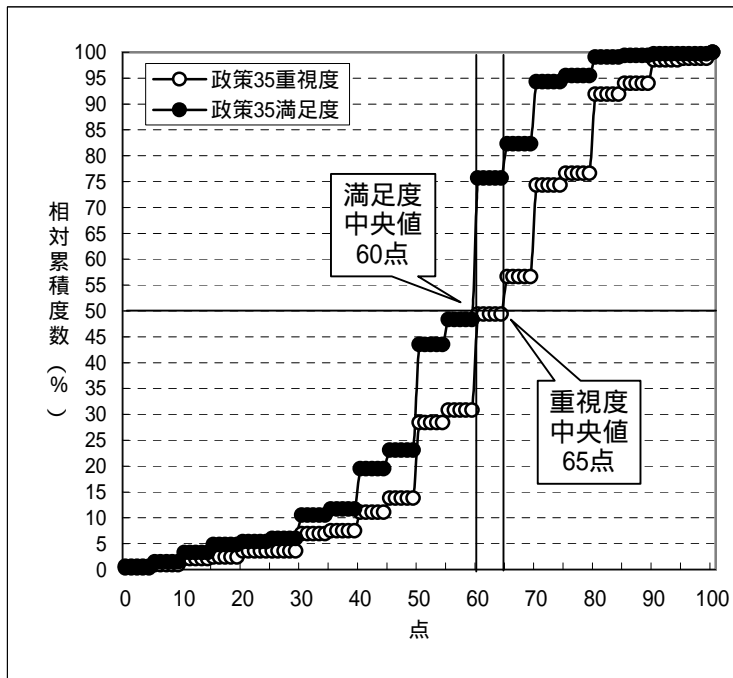
政策番号 4 - 11 - 1

政策名 国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進

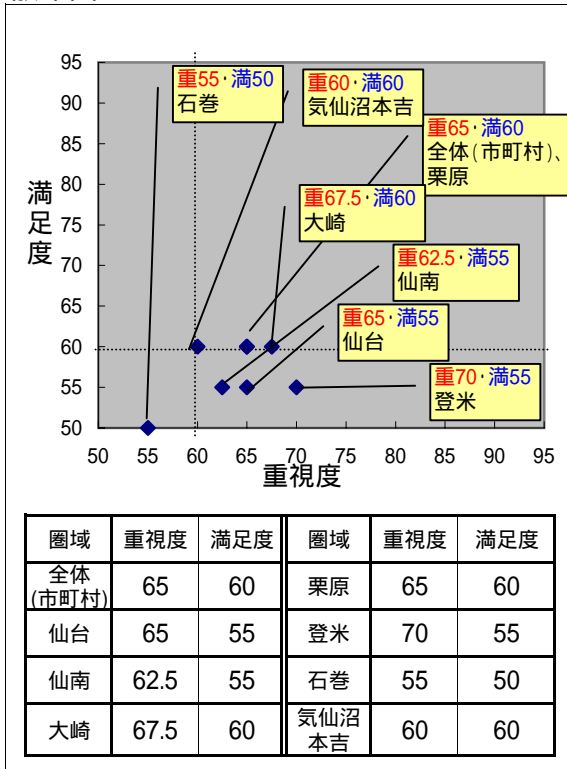
(2) 有識者(市町村職員)満足度調査結果

高関心度 52.1

高認知度 37.6



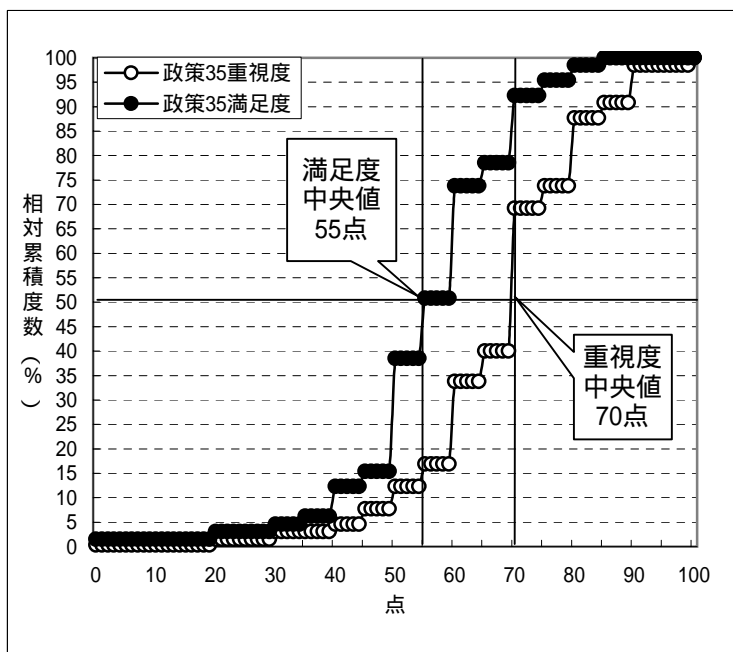
散布図



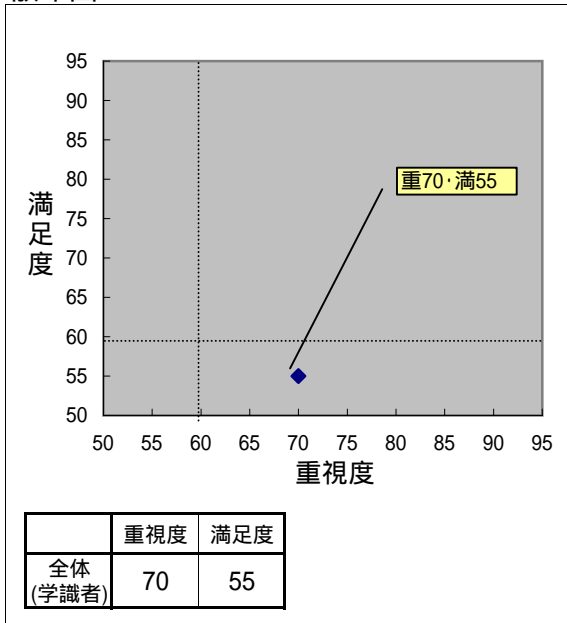
(3) 有識者(学識者)満足度調査結果

高関心度 73.8

高認知度 55.6



散布図

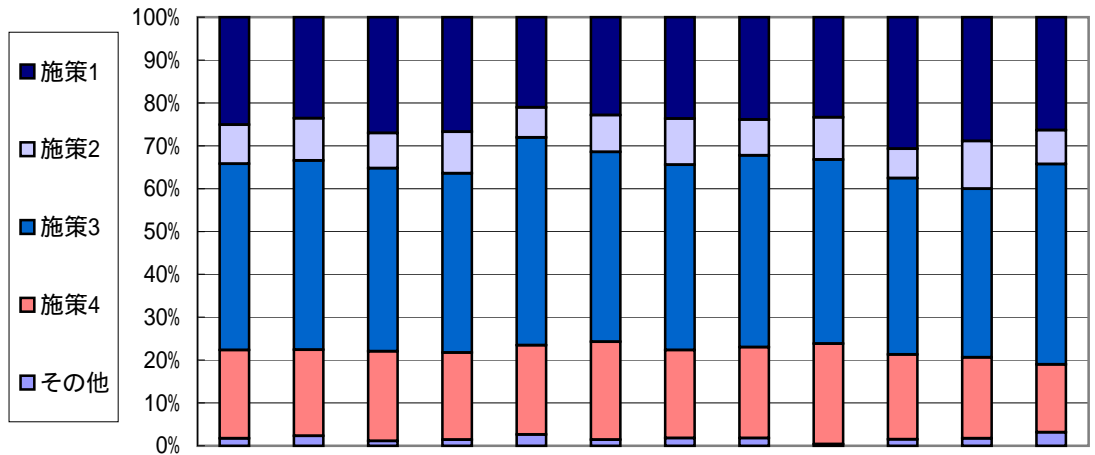


対象年度 H17

政策番号 4 - 11 - 1

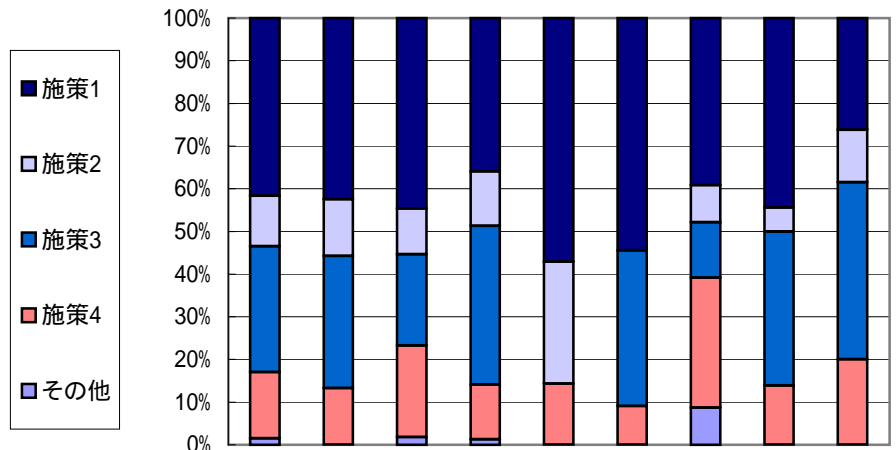
政策名 国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉
施策1	国際化を担う人材育成の推進	25.1	23.6	27.0	26.7	21.1	22.9	23.7	23.9	23.4	30.7	28.9	26.4
施策2	外国人の暮らしやすい環境づくり	9.1	9.9	8.2	9.7	7.0	8.6	10.7	8.4	9.8	6.9	11.1	7.9
施策3	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進	43.5	44.2	42.7	41.8	48.5	44.3	43.3	44.7	43.0	41.1	39.4	46.7
施策4	国際交流活動を支える体制づくり	20.6	20.1	20.9	20.3	20.9	22.9	20.5	21.2	23.4	19.8	18.9	15.9
	その他	1.7	2.3	1.1	1.4	2.6	1.4	1.8	1.8	0.4	1.5	1.7	3.1

(5) 有識者(市町村職員・学識者)満足度結果(施策別・優先度1位割合)



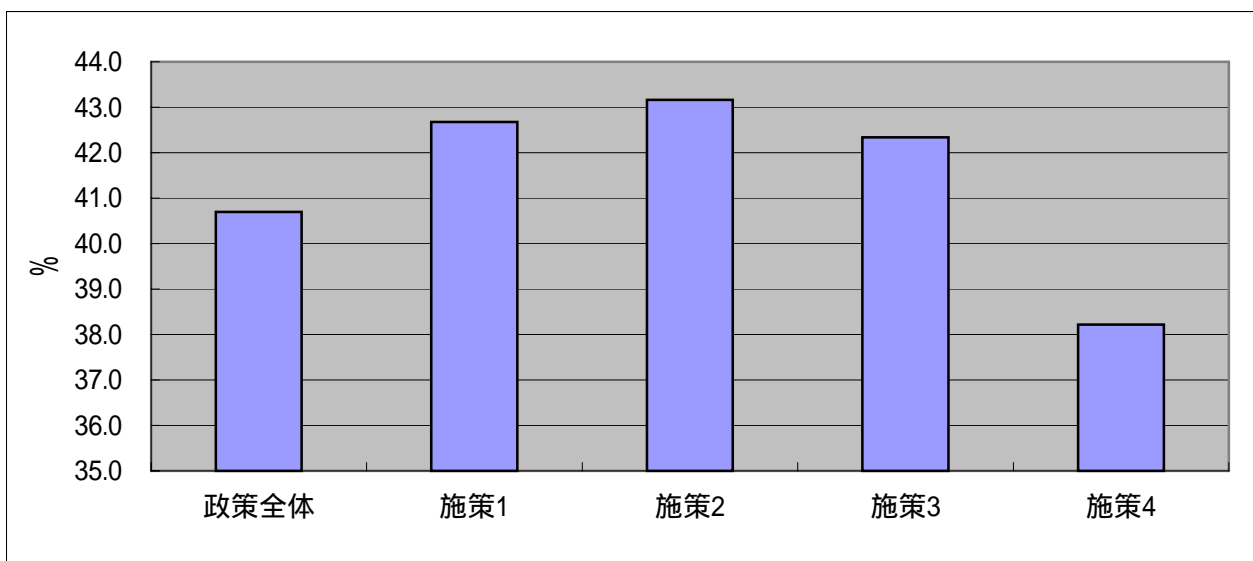
施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	
施策1	国際化を担う人材育成の推進	41.6	42.5	44.6	35.9	57.1	54.5	39.1	44.4	26.2
施策2	外国人の暮らしやすい環境づくり	11.9	13.3	10.7	12.8	28.6	0.0	8.7	5.6	12.3
施策3	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進	29.5	31.0	21.4	37.2	0.0	36.4	13.0	36.1	41.5
施策4	国際交流活動を支える体制づくり	15.5	13.3	21.4	12.8	14.3	9.1	30.4	13.9	20.0
	その他	1.5	0.0	1.8	1.3	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0

対象年度 H17

政策番号 4 - 11 - 1

政策名 国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推

(6) 政策・施策満足度60点以上の回答者割合(一般県民、単位:%)



施策番号	施策名	第5回							
	政策全体	40.7							
施策1	国際化を担う人材育成の推進	42.7							
施策2	外国人の暮らしやすい環境づくり	43.2							
施策3	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進	42.3							
施策4	国際交流活動を支える体制づくり	38.2							